

注3

大学番号：069

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

事前伺い

香川大学医学部 臨床心理学科

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 香川大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 医学部総務課

職名・氏名 課長補佐 ヨコガワ トシコ 横川 利子

電話番号 087-891-2007

（夜間） 087-891-2007

F A X 087-891-2016

e-mail syokacho@med.kagawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医学部

<臨床心理学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	20
6. 留意事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 香川大学

(2) 大学名

香川大学

(3) 大学の位置

〒761-0793
香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1
(〒760-8521
香川県高松市幸町1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(カケヒ ヨシユキ) 笥 善行 (平成29年10月)		
理事	(ヤマシタ トシアキ) 山下 明昭 (平成29年10月)		
学部長	(ウエダ ナツオ) 上田 夏生 (平成29年10月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医学部 臨床心理学科 学士(臨床心理学)	文学関係 教育学・保育学関係 医学関係	4年	20人	0年次人	80人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成30年度 春季入学	その他の学期		
A 入学定員	20人 (-) [-]	- 人	1.00倍	
志願者数	54 (-) [-]	-		
受験者数	54 (-) [-]	-		
合格者数	25人 (-) [-]	-		
B 入学者数	20人 (-) [-]	-		
入学定員超過率 B/A	1.00			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	20 [-]	- [-]	
2年次	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	20 [-] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	20人	0人	平成30年度	0人	0人	
合計	20人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医学部 臨床心理学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学 共通 科目	「 <small>リーディング</small> 」 人生とキャリア	1-2 ①② ③	1									16	
	「 <small>現代社会の諸課題</small> 」 主題B	歴史のなかの21世紀	1-2 ①② ③④		1								8
		グローバル社会と異文化理解	1-2 ①② ③④		1								25
		情報とコミュニケーション	1-2 ①② ③④		1								6
		文化と科学・技術	1-2 ①② ③④		1								22
		生命と環境	1-2 ①② ③④		1								19
		人間と健康	1-2 ①② ③④		1		2						32
		「 <small>地域理解</small> 」 主題C	地域理解(基礎)	1② ④	1								
	地域理解(講義)		1-2 ①② ③④		2								15
	地域理解(実践)		1-2 ①~ ②③ ~④		2								20
	学問 基礎 科目	書物との出会い	1-2 ①~ ②		2								15
		自然科学基礎実験	1-2 ③~ ④		2								5
		哲学	1-2 ①~ ②③ ~④		2								2
論理学		1-2 ①~ ②		2								1	
倫理学		1-2 ①~ ②		2								1	
芸術		1-2 ①~ ②		2								3	
心理学		1-2 ①~ ②③ ~④		2		2						3	
社会学		1-2 ①~ ②③ ~④		2								3	
教育学	1-2 ①~ ②		2								1		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学 共通 科目	「 <small>リーディング</small> 」 人生とキャリア	1-2① ②③	1									17	
	「 <small>現代社会の諸課題</small> 」 主題B	歴史のなかの21世紀	1-2① ②③ ④		1								8
		グローバル社会と異文化理解	1-2① ②③ ④		1								11
		情報とコミュニケーション	1-2 ①② ③④		1								8
		文化と科学・技術	1-2① ②③ ④		1								25
		生命と環境	1-2① ②③ ④		1								15
		人間と健康	1-2① ②③ ④		1			4					17
		「 <small>地域理解</small> 」 主題C	地域理解(基礎)	1② ④	1								
	地域理解(講義)		1-2① ②③ ④		1								18
	地域理解(実践)		1-2① ~② ③~ ④		2								15
	学問 基礎 科目	書物との出会い	1-2① ~②		2								17
		自然科学基礎実験	1-2③ ~④		2								8
		哲学	1-2① ~② ③~ ④		2								2
論理学		1-2① ~②		2								1	
倫理学		1-2 ③~ ④		2								1	
芸術		1-2① ~②		2								3	
心理学		1-2① ~② ③~ ④		2			2		2			4	
社会学		1-2① ~② ③~ ④		2								3	
教育学	1-2 ③~ ④		2								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学 共通科目	学問基礎科目	歴史学	1-2 ①~ ②③ ~④	2							3
		文学	1-2 ③~ ④	2							1
		言語学	1-2 ③~ ④	2							1
		法学	1-2 ①~ ②③ ~④	2							3
		政治学	1-2 ③~ ④	2							1
		経済学	1-2 ①~ ②	2							1
		経営学	1-2 ③~ ④	2							1
		数学	1-2 ①~ ②③ ~④	2							11
		地学(講義)	1-2 ①~ ②	2							6
		地学(実験)	1-2 ③~ ④	2							3
		物理学(講義)	1-2 ①~ ②③ ~④	2							8
		物理学(実験)	1-2 ①~ ②③ ~④	2							6
		化学(講義)	1-2 ①~ ②③ ~④	2							4
		化学(実験)	1-2 ①~ ②	2							3
		生物学(講義)	1-2 ①~ ②③ ~④	2							13
		生物学(実験)	1-2 ①~ ②	2							2
		地理学	1-2 ③~ ④	2							1
		統計学	1-2 ①~ ②	2							1
		情報科学	1-2 ③~ ④	2							2
		医学	1-2 ③~ ④	2							16
看護学	1-2 ①~ ②	2							5		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学 共通科目	学問基礎科目	歴史学	1-2① ~② ③~ ④	2							3
		文学	1-2③ ~④	2							1
		言語学	1-2③ ~④	2							1
		法学	1-2① ~② ③~ ④	2							3
		政治学	1-2 ①~ ②	2							1
		経済学	1-2 ③~ ④	2							1
		経営学	1-2③ ~④	2							1
		数学	1-2① ~② ③~ ④	2							13
		地学(講義)	1-2① ~②	2							5
		地学(実験)	1-2③ ~④	2							3
		物理学(講義)	1-2① ~② ③~ ④	2							10
		物理学(実験)	1-2① ~② ③~ ④	2							6
		化学(講義)	1-2① ~② ③~ ④	2							5
		化学(実験)	1-2① ~②	2							2
		生物学(講義)	1-2① ~② ③~ ④	2							4
		生物学(実験)	1-2① ~②	2							2
		地理学	1-2③ ~④	2							1
		統計学	1-2① ~②	2							1
		情報科学	1-2③ ~④	2							2
		医学	1-2③ ~④	2							1
看護学	1-2① ~②	2							5		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学 共通 科目	ゼミ 大学入門 大学入門ゼミ	1① ~②	2			1					0	
	ラシ 情報リテ 情報リテラシー	1① ~② ③~ ④	2								1	
	既修 外国語 (英語)	Communicative English I	1① ~②	2								22
		Communicative English II	1③ ~④	2								22
		Communicative English III	2① ~②	1								28
		Communicative English IV	2③ ~④	1								28
		Academic English I	3① ~②	1								3
		Academic English II	3① ~②	1								4
	初修 外国語	ドイツ語 I	1① ~②	2								8
		ドイツ語 II	1③ ~④	2								8
		ドイツ語 III	2① ~②	1								5
		ドイツ語会話 III	2① ~②	1								1
		フランス語 I	1① ~②	2								4
		フランス語 II	1③ ~④	2								4
		フランス語 III	2① ~②	1								2
		フランス語会話 III	2① ~②	1								2
		中国語 I	1① ~②	2								6
		中国語 II	1③ ~④	2								7
		中国語 III	2① ~②	1								4
		中国語会話 III	2① ~②	1								1
韓国語 I		1① ~②	2								3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学 共通 科目	ゼミ 大学入門 大学入門ゼミ	1① ~②	2							2	4	
	ラシ 情報リテ 情報リテラシー	1① ~②	2							2	2	
	既修 外国語 (英語)	Communicative English I	1① ~②	2								4
		Communicative English II	1③ ~④	2								4
		Communicative English III	2① ~②	1								3
		Communicative English IV	2③ ~④	1								3
		Academic English I	3① ~②	1								3
		Academic English II	3③ ~④	1								3
	初修 外国語	ドイツ語 I	1① ~②	2								7
		ドイツ語 II	1③ ~④	2								7
		ドイツ語 III	2① ~②	1								5
		ドイツ語会話 III	2① ~②	1								1
		フランス語 I	1① ~②	2								4
		フランス語 II	1③ ~④	2								4
		フランス語 III	2① ~②	1								2
		フランス語会話 III	2① ~②	1								2
		中国語 I	1① ~②	2								5
		中国語 II	1③ ~④	2								6
		中国語 III	2① ~②	1								3
		中国語会話 III	2① ~②	1								1
韓国語 I		1① ~②	2								3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学 共通科目	初修外国語 コミュニケーション科目 健康・スポーツ実技	韓国語Ⅱ	1③ ～④	2								3
		韓国語Ⅲ	2① ～②	1								2
		韓国語会話Ⅲ	2① ～②	1								1
	健康・スポーツ実技	1① ～② ③～④	2									16
	高度教養主題科目	防災ボランティア講座	2① ～②	2								4
		防災ボランティア実習	2③ ～④	2								3
		医療と法	2③ ～④	2								2
		海外体験型異文化コミュニケーションⅡ	1-2-3-4 ②	1								3
		サーバント・リーダー養成入門Ⅱ	1-2-3-4 ②	1								2
		知ブラe科目 有機化学概論	1-2-3-4 ①②	2								1
	高度教養教育科目・広範教養教育科目	知ブラe科目 海洋基礎生態学	1-2-3-4 ①～②	2								1
		上級英語 (Study Abroad)	1-2-3-4 ③～④	2								3
ラテン語初歩Ⅰ		1-2-3-4 ①～②	1								1	
西洋古典語	ラテン語初歩Ⅱ	1-2-3-4 ③～④	1								1	
	知ブラe科目 大学の知の活用	1③ ～④	2								1	
広範教養主題科目	知ブラe科目 行動統計学入門	1③ ～④	2								1	
	知ブラe科目 自動車概論	1③ ～④	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学 共通科目	初修外国語 コミュニケーション科目 健康・スポーツ実技	韓国語Ⅱ	1③ ～④	2								3
		韓国語Ⅲ	2① ～②	1								1
		韓国語会話Ⅲ	2① ～②	1								1
	健康・スポーツ実技	1① ～② ③～④	2									18
	高度教養主題科目	防災ボランティア講座	2① ～②	2								3
		防災ボランティア実習	2③ ～④	2								2
		医療と法	2③ ～④	2								2
		海外体験型異文化コミュニケーションⅡ	1-2-3-4 ②	1								2
		サーバント・リーダー養成入門Ⅱ	1-2-3-4 ②	1								2
		知ブラe科目 有機化学概論 初級	1-2-3-4 ①～②	2								1
	高度教養教育科目・広範教養教育科目	知ブラe科目 有機化学概論 中級	1-2-3-4 ③～④	2								1
		知ブラe科目 海洋基礎生態学	1-2-3-4 ①～②	2								1
知ブラe科目 インドネシアの文化と会話		1-2-3-4 ③～④	1								1	
上級英語	知ブラe科目 海洋地球科学概論	1-2-3-4 ①～②	2								1	
	Study Abroad	1-2-3-4 ①②	2								1	
	ラテン語初歩Ⅰ (隔年開講)	1-2-3-4 ①～②	1								1	
西洋古典語	ラテン語初歩Ⅱ (隔年開講)	1-2-3-4 ③～④	1								1	
	知ブラe科目 大学の知の活用	1-2-3-4 ③～④	2								1	
広範教養主題科目	知ブラe科目 行動統計学入門	1-2-3-4 ③～④	2								1	
	知ブラe科目 自動車概論	1-2-3-4 ③～④	1								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学 共通科目	広範教養主題科目 高度教養教育科目・広範教養教育科目	1③ ~④	2									1
		1① ②	2		4	2						
		3① ②	2			2						
		2① ②	2			1						
		2① ②	2			1						
	心理学基礎実験Ⅱ	2③ ④	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学 共通科目	広範教養主題科目 高度教養教育科目・広範教養教育科目	1-2-3-4 ③~④	2									1
		1-2-3-4 ①~②	1									1
		1-2-3-4 ③~④	2									1
		1-2-3-4 ③~④	2									1
		1-2-3-4 ③~④	2									1
		1-2-3-4 ①~②	1									1
		1-2-3-4 ③~④	1									1
		1-2-3-4 ③~④	1									1
		1-2-3-4 ②~④	1									1
		1-2-3-4 ②~④	1									1
		1-2-3-4 ①~②	2									1
		1-2-3-4 ③~④	2									1
		1-2-3-4 ①~②	1									1
1-2-3-4 ③~④	1									1		
専門基礎科目	心理系 基幹科目	1① ②	2			6	2					
		3① ②	2				2					
		2① ②	2				1					
		2① ②	2				1					
		2③ ④	2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	心理系	臨床心理学	2① ②	2		1						
	基幹科目	早期体験学習(多職種連携)	1③ ④	2		1						1
		医学概論	1③ ④	2		2						
	関連科目	解剖学入門	2①	1								2
		生理学入門	2②	1								2
		生化学・分子生物学入門	2①	1								4
専門科目	基幹科目	心理系	学習心理学	3③ ④	2		1					
			認知心理学	2③ ④	2		1					
			生理・神経心理学	3① ②	2		1					
			生涯発達心理学	2① ②	2		1					
			青年心理学	3③ ④	2		1					
			障害者(児)心理学	3① ②	2		2					
			教育・学校心理学	2③ ④	2							1
			対人関係論	3③ ④	2		2					
			家族心理学	2① ②	2		1					
			社会・地域・集団心理学	2③ ④	2		1					
			福祉心理学	3① ②	2		2					1
			司法心理学	3① ②	2							1
			産業心理学	3③ ④	2		1					
			心理アセスメントⅠ	2③ ④	2		1					
心理アセスメントⅡ	3① ②	2		1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	心理系	臨床心理学概論	2① ②	2		1						
	基幹科目	早期体験学習(多職種連携)	1③ ④	2			2	2			2	
		人体の構造と機能及び疾患Ⅰ(医学概論)	1③ ④	2		2						
	関連科目	人体の構造と機能及び疾患Ⅱ(解剖学入門)	2①	1							2	
		人体の構造と機能及び疾患Ⅲ(生理学入門)	2②	1							2	
		人体の構造と機能及び疾患Ⅳ(生化学・分子生物学入門)	2①	1							4	
専門科目	基幹科目	心理系	学習・言語心理学	3③ ④	2		1					
			知覚・認知心理学	2③ ④	2		1					
			神経・生理心理学	3① ②	2		1					
			発達心理学	2① ②	2		1					
			青年心理学	3③ ④	2		1					
			障害者・障害児心理学	3① ②	2		2					
			教育・学校心理学	2③ ④	2							1
			心理演習Ⅳ(グループ・コミュニケーション演習)	3③ ④	2		2					
			社会・集団・家族心理学	2① ②	2		1					
			心理演習Ⅴ(コミュニティ・アプローチ演習)	4① ②	2		1	1				
			福祉心理学	3① ②	2		2					1
			司法・犯罪心理学	3① ②	2							1
			産業・組織心理学	3③ ④	2		1					
			心理的アセスメント	2③ ④	2		1					
心理演習Ⅲ(心理的アセスメント演習)	3① ②	2					2					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	心理学系	人格心理学	2① ②	2			1							
		医療心理学	3③ ④	2			3							
		カウンセリング概論	2① ②	2			1							
		人間性心理学	3③ ④	2			2	1						
		心理師実践職能論	2③ ④	2			4	1						
		心理面接演習Ⅰ	2③ ④	2			1							
		心理面接演習Ⅱ	3① ②	2			2							
	心理臨床実習	3通	2			6	2							
	社会学系	社会学・関係行政論	2③ ④	2										1
		社会福祉論	2① ②	2										1
	医学系	心理援助職のための内科的疾患概説	3① ②	2			1							
		発達小児科学	3③ ④	2										6
		精神医学	3① ②	2			1							
		心身医学	3③ ④	2			1							
生命倫理学		2②	1			1								
チーム医療実習		4通	4			2								
病理学・免疫学概説		2③	1										3	
関連科目	微生物学・医動物学概説	2④	1										4	
	災害医学・緩和ケア	3③	1										4	
	医療薬理学	3④	1										1	
	教育学系	教育原論	2・3・4① ② ③ ④	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	心理学系	感情・人格心理学	2① ②	2			1							
		健康・医療心理学	3③ ④	2			3							
		心理学的支援法(カウンセリング概論)	2① ②	2			1							
		人間性心理学	3③ ④	2			2	1						
		公認心理師の職責(心理師実践職能論)	2③ ④	2			4	1						
		心理演習Ⅰ(コミュニケーション演習)	2③ ④	2						2				
		心理演習Ⅱ(心理面接演習)	3① ②	2			2							
	心理実習Ⅰ(心理支援実習)	3通	2						4	1				
	社会学系	関係行政論(社会学・関係行政論)	2③ ④	2										1
		社会福祉論	2① ②	2										1
	医学系	人体の構造と機能及び疾病Ⅴ(心理援助職のための内科的疾患概説)	3① ②	2			1							
		発達小児科学	3③ ④	2										6
		精神疾患とその治療(精神医学)	3① ②	2			1							
		心身医学	3③ ④	2			1							
生命倫理学		2②	1			1								
心理実習Ⅱ(チーム医療実習)		4通	4						5					
病理学・免疫学概説		2③	1										3	
関連科目	微生物学・医動物学概説	2④	1										4	
	災害医学・緩和ケア	3③	1										3	
	医療薬理学	3④	1										1	
	教育学系	教育原論	2・3・4① ② ③ ④						2				1	

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	関連科目	教育系 障害児心理学	2・3・4 ③④	2								1
		ゼミ・卒業研究	臨床心理学基礎研究 I	3①②	2		6	2				
	臨床心理学基礎研究 II		3③④	2		6	2					
	臨床心理学研究 I		4①②	2		6	2					
	臨床心理学研究 II		4③④	2		6	2					
	卒業研究	4通	4		6	2						

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	関連科目	教育系 障害児心理学	2・3・4 ③④									1
		ゼミ・卒業研究	臨床心理学基礎研究 I	3①②	2		6	2				
	臨床心理学基礎研究 II		3③④	2		6	2					
	臨床心理学研究 I		4①②	2		6	2					
	臨床心理学研究 II		4③④	2		6	2					
	卒業研究	4通	4		6	2						

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

【全学共通科目】

・授業科目の区分変更

- ・「心理学」を選択科目から自由科目に変更
「心理学」は学部開設科目を通じて十分に学習する一方で、全学共通科目の学問基礎科目では、幅広い教養を身に付けさせることを目的としているため、学問基礎科目に含まれる「心理学」を自由科目に変更した。
- ・カリキュラム内容調整により「人生とキャリア」の兼任・兼任教員を変更(16→17)
- ・カリキュラム内容調整のため「グローバル社会と異文化理解」の兼任・兼任教員を変更(25→11)
- ・カリキュラム内容調整のため「情報とコミュニケーション」の兼任・兼任教員を変更(6→8)
- ・カリキュラム内容調整のため「情報とコミュニケーション」の配当年次を変更(1・2①②③④→1・2①②)
- ・カリキュラム内容調整のため「文化と科学・技術」の兼任・兼任教員を変更(22→25)
- ・カリキュラム内容調整のため「生命と環境」の兼任・兼任教員を変更(19→15)
- ・カリキュラム内容調整のため「人間と健康」の担当教員を変更(教授2→教授4)、兼任・兼任教員を変更(32→17)
- ・誤謬により「地域理解(講義)」の単位数を訂正(2→1)
- ・カリキュラム内容調整のため「地域理解(講義)」の兼任・兼任教員を変更(15→18)
- ・カリキュラム内容調整のため「地域理解(実践)」の兼任・兼任教員を変更(20→15)
- ・カリキュラム内容調整のため「書物との出会い」の兼任・兼任教員を変更(15→17)
- ・カリキュラム内容調整のため「自然科学基礎実験」の兼任・兼任教員を変更(5→8)
- ・カリキュラム内容調整のため「倫理学」の配当年次を変更(1・2①②→1・2③④)
- ・カリキュラム内容調整のため「心理学」の科目区分を変更(選択科目から自由科目に変更)
- ・カリキュラム内容調整のため「心理学」の兼任・兼任教員を変更(3→4)
- ・カリキュラム内容調整のため「教育学」配当年次を変更(1・2①②→1・2③④)
- ・カリキュラム内容調整のため「政治学」の配当年次を変更(1・2③④→1・2①②)
- ・カリキュラム内容調整のため「経済学」配当年次を変更(1・2①②→1・2③④)
- ・カリキュラム内容調整のため「数学」の兼任・兼任教員を変更(11→13)
- ・カリキュラム内容調整のため「地学(講義)」の兼任・兼任教員を変更(6→5)
- ・カリキュラム内容調整のため「物理学(講義)」の兼任・兼任教員を変更(8→10)
- ・カリキュラム内容調整のため「化学(講義)」の兼任・兼任教員を変更(4→5)
- ・カリキュラム内容調整のため「化学(実験)」の兼任・兼任教員を変更(3→2)
- ・カリキュラム内容調整のため「生物学(講義)」の兼任・兼任教員を変更(13→4)
- ・カリキュラム内容調整のため「医学」の兼任・兼任教員を変更(16→1)
- ・クラス編成のため「大学入門ゼミ」の担当教員を変更(准教授1→准教授2)、兼任・兼任教員を変更(0→4)
- ・クラス編成のため「情報リテラシー」の配当年次を変更(1①②③④→1①②)
- ・クラス編成のため「情報リテラシー」の担当教員を変更(准教授0→准教授2)、兼任・兼任教員を変更(1→2)
- ・クラス編成のため「Communicative English I」の兼任・兼任教員を変更(22→4)
- ・クラス編成のため「Communicative English II」の兼任・兼任教員を変更(22→4)
- ・クラス編成のため「Communicative English III」の兼任・兼任教員を変更(28→3)
- ・クラス編成のため「Communicative English IV」の兼任・兼任教員を変更(28→3)
- ・誤謬により「Academic English II」の配当年次を訂正(3①~②→3③~④)
- ・クラス編成のため「Academic English II」の兼任・兼任教員を変更(4→3)
- ・クラス編成のため「ドイツ語I」の兼任・兼任教員を変更(8→7)
- ・クラス編成のため「ドイツ語II」の兼任・兼任教員を変更(8→7)
- ・クラス編成のため「中国語I」の兼任・兼任教員を変更(6→5)
- ・クラス編成のため「中国語II」の兼任・兼任教員を変更(7→6)
- ・クラス編成のため「中国語III」の兼任・兼任教員を変更(4→3)
- ・クラス編成のため「韓国語III」の兼任・兼任教員を変更(2→1)
- ・クラス編成のため「健康・スポーツ実技」の兼任・兼任教員を変更(16→18)
- ・クラス編成のため「防災ボランティア講座」の兼任・兼任教員を変更(4→3)
- ・クラス編成のため「防災ボランティア実習」の兼任・兼任教員を変更(3→2)
- ・クラス編成のため「海外体験型異文化コミュニケーションII」の兼任・兼任教員を変更(3→2)
- ・クラス編成のため「知ブラe科目 有機化学概論」を「知ブラe科目 有機化学概論 初級」、「有機化学概論 中級」の2科目に変更
- ・四国地区における「5国立大学連携構想」の中の大学教育共同実施計画に伴い、高度教養主題科目に「知ブラe科目」(「インドネシアの文化と会話」、「海洋地球科学概論」)を追加しカリキュラムを充実させた。
- ・カリキュラム内容調整のため「知ブラe科目 大学の知の活用」の配当年次を変更(1③④→1・2・3・4③④)
- ・カリキュラム内容調整のため「知ブラe科目 行動統計学入門」の配当年次を変更(1③④→1・2・3・4③④)
- ・カリキュラム内容調整のため「知ブラe科目 自動車概論」の配当年次を変更(1③④→1・2・3・4③④)
- ・誤謬により「知ブラe科目 自動車概論」の単位数を訂正(2→1)
- ・カリキュラム内容調整のため「知ブラe科目 大学生のための「安全・安心」の基礎講座」の配当年次を変更(1③④→1・2・3・4③④)
- ・四国地区における「5国立大学連携構想」の中の大学教育共同実施計画に伴い、広範教養主題科目に「知ブラe科目」(「徳島で暮らす・徳島で働くを考える」、「数理学の世界」、「子どもと学校」、「情報社会の暮らし」、「デジタルものづくり入門」、「アカデミック・プレゼンテーション(PowerPoint編)」、「私たちの生活と材料」、「和算の世界」、「研究倫理」、「インタフェースデザイン概論」、「大学生活入門」、「学びの統合入門」、「アクティブラーニング入門」、「キャリアで活かすITリテラシー」)を追加しカリキュラムを充実させた。
- ・カリキュラム内容調整のため「Study Abroad」の配当年次を変更(1・2・3・4③④→1・2・3・4①②)

【学部開設科目】

・授業科目の区分変更

- ・カリキュラム内容調整により、専門科目「教育原論」、「障害児心理学」を選択科目から自由科目に変更

- ・授業科目名変更（公認心理師の学部カリキュラム対応のため）
 - ・「心理統計法」から「心理学統計法」に変更
 - ・「心理学基礎実験Ⅰ」から「心理学実験Ⅰ」に変更
 - ・「心理学基礎実験Ⅱ」から「心理学実験Ⅱ」に変更
 - ・「臨床心理学」から「臨床心理学概論」に変更
 - ・「医学概論」から「人体の構造と機能及び疾病Ⅰ（医学概論）」に変更
 - ・「解剖学入門」から「人体の構造と機能及び疾病Ⅱ（解剖学入門）」に変更
 - ・「生理学入門」から「人体の構造と機能及び疾病Ⅲ（生理学入門）」に変更
 - ・「生化学・分子生物学入門」から「人体の構造と機能及び疾病Ⅳ（生化学・分子生物学入門）」に変更
 - ・「学習心理学」から「学習・言語心理学」に変更
 - ・「認知心理学」から「知覚・認知心理学」に変更
 - ・「生理・神経心理学」から「神経・生理心理学」に変更
 - ・「生涯発達心理学」から「発達心理学」に変更
 - ・「障害者（児）心理学」から「障害者・障害児心理学」に変更
 - ・「対人関係論」から「心理演習Ⅳ（グループ・コミュニケーション演習）」に変更
 - ・「家族心理学」から「社会・集団・家族心理学」に変更
 - ・「社会・地域・集団心理学」から「心理演習Ⅴ（コミュニティ・アプローチ演習）」に変更
 - ・「司法心理学」から「司法・犯罪心理学」に変更
 - ・「産業心理学」から「産業・組織心理学」に変更
 - ・「心理アセスメントⅠ」から「心理的アセスメント」に変更
 - ・「心理アセスメントⅡ」から「心理演習Ⅲ（心理的アセスメント演習）」に変更
 - ・「人格心理学」から「感情・人格心理学」に変更
 - ・「医療心理学」から「健康・医療心理学」に変更
 - ・「カウンセリング概論」から「心理学的支援法（カウンセリング概論）」に変更
 - ・「心理師実践機能論」から「公認心理師の職責（心理師実践機能論）」に変更
 - ・「心理面接演習Ⅰ」から「心理演習Ⅰ（コミュニケーション演習）」に変更
 - ・「心理面接演習Ⅱ」から「心理演習Ⅱ（心理面接演習）」に変更
 - ・「心理臨床実習」から「心理実習Ⅰ（心理支援実習）」に変更
 - ・「社会医学・関係行政論」から「関係行政論（社会医学・関係行政論）」に変更
 - ・「心理援助職のための内科的疾患概説」から「人体の構造と機能及び疾病Ⅴ（心理援助職のための内科的疾患概説）」に変更
 - ・「精神医学」から「精神疾患とその治療（精神医学）」に変更
 - ・「チーム医療実習」から「心理実習Ⅱ（チーム医療実習）」に変更
- ・専任教員等の配置変更（授業内容の充実のため）
 - 専門基礎科目・専門科目
 - ・「心理学概論」：「教授4、准教授2」から「教授6、准教授2」に変更
 - ・「早期体験学習（多職種連携）」：「教授1、兼任1」から「教授2、准教授2、兼任2」に変更
 - ・「心理演習Ⅴ（コミュニティ・アプローチ演習）」：「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更
 - ・「心理演習Ⅲ（心理的アセスメント演習）」：「教授1」から「教授2」に変更
 - ・「心理演習Ⅰ（コミュニケーション演習）」：「教授1」から「教授2」に変更
 - ・「心理実習Ⅱ（チーム医療実習）」：「教授2」から「教授5」に変更
 - ・専任教員等の配置変更（授業内容の見直しのため）
 - ・「心理実習Ⅰ（心理支援実習）」：「教授6、准教授2」から「教授4、准教授1」に変更
- ・兼任教員の変更
 - ・「人体の構造と機能及び疾病Ⅲ（生理学入門）」：「兼任・准教授・山口文徳」から「兼任・教授・藤原祐一郎」に変更
兼任2名のうち1名の兼任教員転出のため：)
- ・兼任教員の追加
 - ・「早期体験学習（多職種連携）」指導体制充実のため、兼任教員・坂東修二准教授追加。
- ・配当年次の変更（教育課程の見直しのため）
 - ・「心理演習Ⅴ（コミュニティ・アプローチ演習）」：「2年後期」から「4年前期」に変更

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
64 科目	68 科目	0 科目	132 科目	64 科目	82 科目	3 科目	149 科目	
				[0]	[14]	[3]	[17]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	未開講科目なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	廃止科目なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{132} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地の内、10,148 ㎡を香川県より借用 (毎年更新)	
	校 舎 敷 地	165,625㎡	0㎡	0㎡	165,625㎡		
	運 動 場 用 地	80,981㎡	0㎡	0㎡	80,981㎡		
	小 計	246,606㎡	0㎡	0㎡	246,606㎡		
	そ の 他	704,405㎡	0㎡	0㎡	704,405㎡		
	合 計	951,011㎡	0㎡	0㎡	951,011㎡		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
		170,034㎡ (170,034㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	170,034㎡ (170,034㎡)		
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
		4室	1室	4室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)	
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		
		医学部 臨床心理学科			8 室		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本
		[うち外国書]	[うち外国書]				
		冊	種	点	点	点	
	医学部 臨床心理学科	868,430 [268,272] (868,430 [268,272])	25,545 [7,342] (25,545 [7,342])	5,566 [4,180] (5,566 [4,180])	9,120 (9120)	0 (0)	1,033 (1,033)
計	868,430 [268,272] (868,430 [268,272])	25,545 [7,342] (25,545 [7,342])	5,566 [4,180] (5,566 [4,180])	9,120 (9120)	0 (0)	1,033 (1,033)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	11,506㎡		966席		1,104,000冊		
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	5,577㎡		運動場 5面		テニスコート 14面		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
学生納付金以外の維持方法の概要		—					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	香川大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
教育学部	年	人	年次人	人		倍			
学校教育教員養成課程	4	160	-	640	学士 (教育学)	1.01	平成15年度	香川県高松市幸町1番1号	
人間発達環境課程	4	-	-	-	学士 (教養学)	-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
法学部									
(昼夜開講制)									上段は昼間コース、下段は夜間主コース
法学科(昼)	4	150	3年次10	620	学士 (法学)	1.07	平成15年度	香川県高松市幸町2番1号	
(夜)		10	-	40		0.55	平成15年度	同上	
経済学部									
(昼夜開講制)									上段は昼間コース、下段は、夜間主コース
経済学科(昼)	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	平成15年度	香川県高松市幸町2番1号	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
経営システム学科(昼)	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
地域社会システム学科(昼)	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
経済学科(昼)	4	240	3年次20	1,000	学士 (経済学)	1.05	平成30年度	香川県高松市幸町2番1号	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
(夜)		10	-	40		0.50	平成30年度	同上	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
医学部									
医学科	6	109	2年次5	623	学士 (医学)	1.00	平成15年度	香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1	平成21・22・24・25・30年度入学定員増による学年進行
看護学科	4	60	3年次10	260	学士 (看護学)	1.03	平成15年度	同上	
臨床心理学科	4	20	-	80	学士 (臨床心理学)	1.00	平成30年度	同上	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
創造工学部									
創造工学科	4	330	3年次20	1,360	学士 (工学)	1.05	平成30年度	香川県高松市林町2217番地20	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
工学部									
安全システム建設工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成15年度	香川県高松市林町2217番地20	平成30年より学生募集停止
信頼性情報システム工学科	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成24年より学生募集停止
電子・情報工学科	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
知能機械システム工学科	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止
材料創造工学科	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成30年より学生募集停止

大学の名称	香川大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
農学部 応用生物科学科	4	150	-	600	学士 (農学)	1.04	平成18年度	香川県木田郡三木町 大字池戸2393番地	
教育学研究科 修士課程									
学校教育専攻	2	12	-	24	修士 (教育学)	0.70	平成15年度	香川県高松市幸町1 番1号	
教科教育専攻	2	18	-	36		0.49	平成15年度	同上	
学校臨床心理専攻	2	7	-	14		0.71	平成15年度	同上	
専門職学位課程 高度教職実践専攻	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	0.99	平成28年度	同上	
法学研究科 修士課程									
法律学専攻	2	8	-	16	修士 (法学)	0.68	平成15年度	香川県高松市幸町2 番1号	
経済学研究科 修士課程									
経済学専攻	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.80	平成15年度	香川県高松市幸町2 番1号	
医学系研究科 修士課程									
看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.55	平成15年度	香川県木田郡三木町 大字池戸1750番地1	
博士課程 機能構築医学専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-	平成15年度	同上	平成28年より学生 募集停止
分子情報制御医学専攻	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成28年より学生 募集停止
社会環境病態医学専攻	4	-	-	-		-	平成15年度	同上	平成28年より学生 募集停止
医学専攻	4	30	-	120		1.04	平成28年度	同上	平成27年度事前伺い 平成28年4月設置
工学研究科 博士前期課程									
安全システム建設工学専攻	2	18	-	36	修士 (工学)	0.74	平成15年度	香川県高松市林町 2217番地20	
信頼性情報システム工学 専攻	2	24	-	48		1.45	平成15年度	同上	
知能機械システム工学専攻	2	18	-	36		1.55	平成15年度	同上	
材料創造工学専攻	2	18	-	36		2.02	平成15年度	同上	
博士後期課程									
安全システム建設工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.33	平成16年度	同上	
信頼性情報システム工学 専攻	3	7	-	21		0.09	平成16年度	同上	
知能機械システム工学専攻	3	5	-	15		0.73	平成16年度	同上	
材料創造工学専攻	3	5	-	15		0.46	平成16年度	同上	

大学の名称	香川大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
農学研究科									
修士課程									
生物資源生産学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成18年度	香川県木田郡三木町 大字池戸2393番地	平成30年より学生 募集停止
生物資源利用学専攻	2	-	-	-		-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
希少糖科学専攻	2	-	-	-		-	平成18年度	同上	平成30年より学生 募集停止
応用生物・希少糖科学専攻	2	60	-	120	修士 (農学)	0.95	平成30年度	同上	平成29年度事前伺い 平成30年4月設置
地域マネジメント研究科									
専門職学位課程									
地域マネジメント 専攻	2	30	-	60	経営修士 (専門職)	0.93	平成16年度	香川県高松市幸町2 番1号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず, 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医学部 臨床心理学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	竹森 元彦 <平成30年4月>
		心理学概論 臨床心理学 対人関係論 福祉心理学 人間性心理学 心理師実践職能論 心理面接演習 II 心理臨床実習 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
		山田 俊介 <平成30年4月>
		心理学概論 対人関係論 カウンセリング概論 心理師実践職能論 心理面接演習 I 心理面接演習 II 心理臨床実習 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
		橋本 忠行 <平成30年4月>
心理学概論 心理アセスメント I 心理アセスメント II 人格心理学 心理師実践職能論 心理臨床実習 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究		
専	教授	林 智一 <平成30年4月>
		心理学概論 生涯発達心理学 青年心理学 障害者(児)心理学 福祉心理学 医療心理学 人間性心理学 心理師実践職能論 心理臨床実習 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
		神原 憲治 <平成30年4月>
		早期体験学習(多職種連携) 医学概論 医療心理学 心理臨床実習 心理援助職のための内科的疾患概説 心身医学 チーム医療実習 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
		神原 憲治 <平成30年4月>
心理学概論 発達心理学 青年心理学 障害者・障害児心理学 福祉心理学 健康・医療心理学 心理演習 III (心理的アセスメント演習) 人間性心理学 公認心理師の職責(心理師実践職能論) 心理実習 I (心理支援実習) 心理実習 II (チーム医療実習) 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究		

【平成30年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	竹森 元彦 <平成30年4月>
		心理学概論 臨床心理学概論 心理演習 IV (グループ・コミュニケーション演習) 福祉心理学 人間性心理学 公認心理師の職責(心理師実践職能論) 心理演習 I (コミュニケーション演習) 心理演習 II (心理面接演習) 心理実習 I (心理支援実習) 心理実習 II (チーム医療実習) 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
		山田 俊介 <平成30年4月>
		心理学概論 心理演習 IV (グループ・コミュニケーション演習) 心理学的支援法(カウンセリング概論) 公認心理師の職責(心理師実践職能論) 心理演習 I (コミュニケーション演習) 心理演習 II (心理面接演習) 心理実習 I (心理支援実習) 心理実習 II (チーム医療実習) 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
		橋本 忠行 <平成30年4月>
心理学概論 心理演習 V (コミュニティ・アプローチ演習) 心理的アセスメント 心理演習 III (心理的アセスメント演習) 感情・人格心理学 公認心理師の職責(心理師実践職能論) 心理実習 I (心理支援実習) 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究		
専	教授	林 智一 <平成30年4月>
		心理学概論 発達心理学 青年心理学 障害者・障害児心理学 福祉心理学 健康・医療心理学 心理演習 III (心理的アセスメント演習) 人間性心理学 公認心理師の職責(心理師実践職能論) 心理実習 I (心理支援実習) 心理実習 II (チーム医療実習) 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
		神原 憲治 <平成30年4月>
		心理学概論 早期体験学習(多職種連携) 人体の構造と機能及び疾病 I (医学概論) 健康・医療心理学 人体の構造と機能及び疾病 V (心理援助職のための内科的疾患概説) 心身医学 心理実習 II (チーム医療実習) 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
		神原 憲治 <平成30年4月>
心理学概論 人体の構造と機能及び疾病 V (心理援助職のための内科的疾患概説) 心身医学 心理実習 II (チーム医療実習) 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	黒滝 直弘 <平成30年4月>
		医学概論 生理・神経心理学 障害者(児)心理学 医療心理学 心理臨床実習 精神医学 生命倫理学 チーム医療実習 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
専	准教授	野口 修司 <平成30年4月>
		心理学概論 心理学研究法 家族心理学 社会・集団・家族心理学 産業心理学 人間性心理学 心理師実践職能論 心理臨床実習 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
専	准教授	川人(杉野本) 潤子 <平成30年4月>
		心理学概論 心理学研究法 心理統計法 心理学基礎実験 I 心理学基礎実験 II 学習心理学 認知心理学 心理臨床実習 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
兼任	教授	岡田 宏基 <平成30年4月>
		早期体験学習(多職種連携)
兼任	教授	荒木 伸一 <平成30年4月>
		解剖学入門
兼任	教授	三木 崇範 <平成30年4月>
		解剖学入門
兼任	教授	平野 勝也 <平成30年4月>
		生理学入門
兼任	准教授	山口 文徳 <平成30年4月>
		生理学入門
兼任	教授	上田 夏生 <平成30年4月>
		生化学・分子生物学入門
兼任	教授	神鳥 成弘 <平成30年4月>
		生化学・分子生物学入門
兼任	教授	竹崎 直子 <平成30年4月>
		生化学・分子生物学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	黒滝 直弘 <平成30年4月>
		心理学概論 早期体験学習(多職種連携) 人体の構造と機能及び疾病 I (医学概論) 神経・生理心理学 障害者・障害児心理学 健康・医療心理学 精神疾患とその治療(精神医学) 生命倫理学 心理実習 II (チーム医療実習) 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
専	准教授	野口 修司 <平成30年4月>
		早期体験学習(多職種連携) 心理学概論 心理学研究法 社会・集団・家族心理学 心理実習 V (コミュニティ・アプローチ演習) 産業・組織心理学 人間性心理学 公認心理師の職責(心理師実践職能論) 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
専	准教授	川人(杉野本) 潤子 <平成30年4月>
		早期体験学習(多職種連携) 心理学概論 心理学研究法 心理学統計法 心理学実験 I 心理学実験 II 学習・言語心理学 知覚・認知心理学 心理実習 I (心理支援実習) 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
兼任	教授	岡田 宏基 <平成30年4月>
		早期体験学習(多職種連携)
兼任	准教授	坂東 修二 <平成30年4月>
		早期体験学習(多職種連携)
兼任	教授	荒木 伸一 <平成30年4月>
		人体の構造と機能及び疾病 II (解剖学入門)
兼任	教授	三木 崇範 <平成30年4月>
		人体の構造と機能及び疾病 II (解剖学入門)
兼任	教授	平野 勝也 <平成30年4月>
		人体の構造と機能及び疾病 III (生理学入門)
兼任	教授	藤原 祐一郎 <平成30年4月>
		人体の構造と機能及び疾病 III (生理学入門)
兼任	教授	上田 夏生 <平成30年4月>
		人体の構造と機能及び疾病 IV (生化学・分子生物学入門)
兼任	教授	神鳥 成弘 <平成30年4月>
		人体の構造と機能及び疾病 IV (生化学・分子生物学入門)
兼任	教授	竹崎 直子 <平成30年4月>
		人体の構造と機能及び疾病 IV (生化学・分子生物学入門)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	中村 隆範 ＜平成30年4月＞
		生化学・分子生物学入門
兼任	教授	平尾 智広 ＜平成30年4月＞
		社会医学・関係行政論
兼任	教授	日下 隆 ＜平成30年4月＞
		発達小児科学
兼任	准教授	岡田 仁 ＜平成30年4月＞
		発達小児科学
兼任	教授	西田 智子 ＜平成30年4月＞
		発達小児科学
兼任	講師	岩瀬 孝志 ＜平成30年4月＞
		発達小児科学
兼任	助教	近藤 園子 ＜平成30年4月＞
		発達小児科学
兼任	助教	加藤 育子 ＜平成30年4月＞
		発達小児科学
兼任	教授	上野 正樹 ＜平成30年4月＞
		病理学・免疫学概説
兼任	教授	星野 克明 ＜平成30年4月＞
		病理学・免疫学概説
兼任	准教授	横平 政直 ＜平成30年4月＞
		病理学・免疫学概説
兼任	教授	桑原 知巳 ＜平成30年4月＞
		微生物学・医動物学概説
兼任	教授	藤井 豊 ＜平成30年4月＞
		微生物学・医動物学概説
兼任	准教授	新井 明治 ＜平成30年4月＞
		微生物学・医動物学概説
兼任	講師	今天路 治之 ＜平成30年4月＞
		微生物学・医動物学概説
兼任	教授	辻 晃仁 ＜平成30年4月＞
		災害医学・緩和ケア
兼任	教授	黒田 泰弘 ＜平成30年4月＞
		災害医学・緩和ケア
兼任	教授	芳地 一 ＜平成30年4月＞
		医療薬理学
兼任	教授	櫻井 佳樹 ＜平成30年4月＞
		教育原論
兼任	教授	武蔵 博文 ＜平成30年4月＞
		障害児心理学
兼任	助教	村上 あきつ ＜平成30年4月＞
		災害医学・緩和ケア
兼任	准教授	中村 多見 ＜平成30年4月＞
		教育・学校心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	中村 隆範 ＜平成30年4月＞
		人体の構造と機能及び疾病IV(生化学・分子生物学入門)
兼任	教授	平尾 智広 ＜平成30年4月＞
		関係行政論(社会医学・関係行政論)
兼任	教授	日下 隆 ＜平成30年4月＞
		発達小児科学
兼任	准教授	岡田 仁 ＜平成30年4月＞
		発達小児科学
兼任	教授	西田 智子 ＜平成30年4月＞
		発達小児科学
兼任	講師	岩瀬 孝志 ＜平成30年4月＞
		発達小児科学
兼任	助教	近藤 園子 ＜平成30年4月＞
		発達小児科学
兼任	助教	加藤 育子 ＜平成30年4月＞
		発達小児科学
兼任	教授	上野 正樹 ＜平成30年4月＞
		病理学・免疫学概説
兼任	教授	星野 克明 ＜平成30年4月＞
		病理学・免疫学概説
兼任	准教授	横平 政直 ＜平成30年4月＞
		病理学・免疫学概説
兼任	教授	桑原 知巳 ＜平成30年4月＞
		微生物学・医動物学概説
兼任	教授	藤井 豊 ＜平成30年4月＞
		微生物学・医動物学概説
兼任	准教授	新井 明治 ＜平成30年4月＞
		微生物学・医動物学概説
兼任	講師	今天路 治之 ＜平成30年4月＞
		微生物学・医動物学概説
兼任	教授	辻 晃仁 ＜平成30年4月＞
		災害医学・緩和ケア
兼任	教授	黒田 泰弘 ＜平成30年4月＞
		災害医学・緩和ケア
兼任	教授	芳地 一 ＜平成30年4月＞
		医療薬理学
兼任	教授	櫻井 佳樹 ＜平成30年4月＞
		教育原論
兼任	教授	武蔵 博文 ＜平成30年4月＞
		障害児心理学
兼任	助教	村上 あきつ ＜平成30年4月＞
		災害医学・緩和ケア
兼任	准教授	中村 多見 ＜平成30年4月＞
		教育・学校心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	岡崎 昌枝 <平成30年4月>
		社会福祉論 福祉心理学
兼任	教授	黒澤 良輔 <平成30年4月>
		司法心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	社会福祉士事務所 社会福祉士	岡崎 昌枝 <平成30年4月>
		社会福祉論 福祉心理学
兼任	教授	黒澤 良輔 <平成30年4月>
		司法・犯罪心理学

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

<p>専任教員の配置変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年4月1日 「心理演習Ⅴ(コミュニティ・ロ-ジ演習)」指導体制充実のため、橋本忠行教授追加 平成30年4月1日 「心理演習Ⅲ(心理サポ-ト演習)」指導体制充実のため、林智一教授追加 平成30年4月1日 「心理演習Ⅳ(コミュニケーション演習)」指導体制充実のため、竹森元彦教授追加 平成30年4月1日 「心理実習Ⅱ(子-ん医療実習)」指導体制充実のため、山田俊介教授、竹森元彦教授、林智一教授追加 平成30年4月1日 「心理実習Ⅰ(心理支援実習)」授業内容見直しのため、担当教員3名減(黒滝直弘、神原憲治教授、野口修司准教授) 平成30年4月1日 「心理学概論」授業内容充実のため、黒滝直弘教授、神原憲治教授を追加 平成30年4月1日 「早期体験学習(多職種連携)」授業内容充実のため、黒滝直弘教授、野口修司准教授、川人潤子准教授を追加 <p>兼任教員の配置変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年4月1日 兼任教員・山口文徳准教授辞任(平成30年3月31日)のため、担当科目「人体の構造と機能及び疾病Ⅲ(生理学入門)」を藤原祐一郎教授に変更 平成30年4月1日 指導体制充実のため、兼任教員・坂東修二准教授追加。(「早期体験学習(多職種連携)」の兼任教員として追加) <p>授業科目名変更(公認心理師の学部カリキュラム対応のため)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「心理統計法」から「心理学統計法」に変更 「心理学基礎実験Ⅰ」から「心理学実験Ⅰ」に変更 「心理学基礎実験Ⅱ」から「心理学実験Ⅱ」に変更 「臨床心理学」から「臨床心理学概論」に変更 「医学概論」から「人体の構造と機能及び疾病Ⅰ(医学概論)」に変更 「解剖学入門」から「人体の構造と機能及び疾病Ⅱ(解剖学入門)」に変更 「生理学入門」から「人体の構造と機能及び疾病Ⅲ(生理学入門)」に変更 「生化学・分子生物学入門」から「人体の構造と機能及び疾病Ⅳ(生化学・分子生物学入門)」に変更 「学習心理学」から「学習・言語心理学」に変更 「認知心理学」から「知覚・認知心理学」に変更 「生理・神経心理学」から「神経・生理心理学」に変更 「生涯発達心理学」から「発達心理学」に変更 「障害者(児)心理学」から「障害者・障害児心理学」に変更 「対人関係論」から「心理演習Ⅳ(グループ・コミュニケーション演習)」に変更 「家族心理学」から「社会・集団・家族心理学」に変更 「社会・地域・集団心理学」から「心理演習Ⅴ(コミュニティ・アプローチ演習)」に変更 「司法心理学」から「司法・犯罪心理学」に変更 「産業心理学」から「産業・組織心理学」に変更 「心理アセスメントⅠ」から「心理的アセスメント」に変更 「心理アセスメントⅡ」から「心理演習Ⅲ(心理的アセスメント演習)」に変更 「人格心理学」から「感情・人格心理学」に変更 「医療心理学」から「健康・医療心理学」に変更 「カウンセリング概論」から「心理学的支援法(カウンセリング概論)」に変更 「心理師実践職能論」から「公認心理師の職責(心理師実践職能論)」に変更 「心理面接演習Ⅰ」から「心理演習Ⅰ(コミュニケーション演習)」に変更 「心理面接演習Ⅱ」から「心理演習Ⅱ(心理面接演習)」に変更 「心理臨床実習」から「心理実習Ⅰ(心理支援実習)」に変更 「社会医学・関係行政論」から「関係行政論(社会医学・関係行政論)」に変更 「心理援助職のための内科的疾患概説」から「人体の構造と機能及び疾病Ⅴ(心理援助職のための内科的疾患概説)」に変更 「精神医学」から「精神疾患とその治療(精神医学)」に変更 「チーム医療実習」から「心理実習Ⅱ(チーム医療実習)」に変更
--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **緑色で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8	6
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
6	2	0	0	8	6	2	0	0	8	6	2	0	0	8
(6)	(2)	(0)	(0)	(8)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「**現在(報告書提出時)の完成年度時の計画**」には、「**現在(報告書提出時)の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告書提出時(上記 (B))の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> 該当なし </div>		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<医学部 臨床心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<div data-bbox="504 499 1085 629" style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">該当なし</p> </div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

医学部教育センター FD委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

開催回数：年1回

平成30年3月20日開催 委員出席数9名／(10名)

c 委員会の審議事項等

議題1 平成30年度FD委員会委員について

議題2 平成29年度FDおよび授業公開実施報告について

議題3 平成30年度FD実施計画(年間スケジュール)について

議題4 新任教員研修プログラムについて

議題5 その他

② 実施状況

a 実施内容

【平成30年度予定FD】

・CBTに関するFD

・授業公開『生理学I』（消化器）

・授業公開『医療管理学・診断学』（症例検討会）

・授業公開『未定（医学科講義）』

・授業公開『未定（看護学科講義）』

・授業公開『チュートリアル発表会』

・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成30年度 第1回～第5回）

・医学部教育センターFD「国家試験対策及び試験問題の作問に関するFD」（仮題）

・平成30年度看護学科入試に向けての研修

・障害学生に関するFD

b 実施方法 講演会方式

c 開催状況（教員の参加状況含む）

【平成29年度開催状況】

- ・CBTに関するFD 3月21日 67人
- ・授業公開『衛生学』（疫学） 4月14日 12人
- ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成29年度 第1回） 4月24日 231人
- ・授業公開「精神看護学概論」 6月9日 14人
- ・COC+講演会「グローバル化時代をしなやかに生きる - Think Glocally, Act Glocally -」
6月16日 20人
- ・医学教育ワークショップ『診療参加型臨床実習の基礎と実践 6月26日 85人
-教員が同じ目標を見据えた卒前・卒後のシームレスな教育を目指して-』
- ・平成30年度看護学科入試に向けての研修 6月27日 21人
- ・授業公開『チュートリアル発表会』 7月5日 14人
- ・授業公開『医療総合講義（臨床腫瘍学総論）』 7月10日 14人
- ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成29年度 第2回） 7月28日 141人
- ・「看護学教育モデル・コア・カリキュラムの背景・概要・考え方」 8月31日 24人
- ・授業公開「皮膚感覚系ユニット」 9月7日 18人
- ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成29年度 第3回） 9月29日 187人
- ・COCシンポジウム「先進地からの学びで知を紡ぎ、香川の地域包括ケアシステムの未来像を語る」
10月20日 16人
- ・COCシンポジウム「ローカルマインド醸成に必要なマインドとスキル～地域で活躍するプロフェッショナル
から学ぶ～」 11月7日 13人
- ・障害学生に関するFD 11月16日 64人
- ・脱ガラパゴス！医学教育リノベーション ～教育プログラム改革と分野別認証評価を受審して～
11月17日 37人
- ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成29年度 第4回） 1月25日 201人
- ・「化学物質リスクアセスメントと化学物質管理支援システムの導入について」の説明会 2月1日 58人
- ・第3回香川大学入試改革フォーラム 2月16日 56人
- ・第3回香川大学入試改革フォーラム（ビデオ上映会） 2月27日 40人
- ・希少糖セミナー 3月6日 76人
- ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成29年度 第5回） 3月27日 213人

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

医学部において、教員の資質向上のため、毎年、年間を通じて多様な分野・領域からの講習会を開催している。いずれの講習会も授業担当教員としての責務の再確認に有益なだけでなく、医学教育の基盤を拡充させる新たな取り組みを啓発する内容である。特に医学・生命倫理に関する講習会では、平成29年度全5回で約1000人（病院職員含む）の参加があり、当該分野への意識の高さが伺えると同時に医学部教育の質の向上に寄与していると考えられる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各科目の終了毎に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート集計結果は教職員HPで公表しフィードバックしている。学生にも紙媒体で公表している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成30年4月、医学部に臨床心理学科を新たに設置し、新入生を迎えて、心理援助職の養成が始まった。医学部に本学科を設置したことによって、心理援助職を目指す学生が、心理学・臨床心理学と医学の基礎を学ぶと共に、附属病院との連携による実践的な心理実習を通して、チーム医療・援助などを学ぶための体制の基礎が整った。また、平成29年9月に施行された公認心理師の学部カリキュラムに対応するように、学科カリキュラムを修正した。学科教員は8名（心理学系6名、医学系2名）で組織されている。入学者は20名で、定員20名を充足している。現在、年次進行にそって、各授業科目に必要な備品や学習環境などを確保している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・年次進行終了後の平成33年度に自己点検評価（大学全体）を実施・公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成34年度に機関別認証評価を受けるべく、学内で検討中。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 ・ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年 8月 1日)

(注)・「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。